

令和 4 年度「大学生の力を活用した集落復興支援事業」(実態調査)

活動報告 2022

-福島県田村市景観調査と世代間交流-



芝浦工業大学 システム理工学部 環境システム学科

目次

1. 授業の概要
2. 地域のニーズと活動の目的
 - 2.1 集落の状況
 - 2.2 集落のニーズ
 - 2.3 調査の目的
3. 実施体制と訪問日程
 - 3.1 現地訪問
 - 3.2 オンライン交流
4. 現地調査報告
 - 4.1 美山の集落景観調査
 - 4.2 テラス石森 見学
 - 4.3 聖石温泉 村越芽生さんのお話
 - 4.4 木工体験
5. 美山小学校とのオンライン交流報告
 - 5.1 美山小学校の発表の様子
 - 5.2 未来に残したい美山風景の発表
 - 5.3 考察と感想
6. まとめ、今後の展開

謝辞

1. 団体の概要

私たち SDGs アクター学生連絡会は、SDGs アクターの資格を取得した学生からなる団体です。都市や農山村において、幼稚園～小学校～高校の環境学習や ESD(持続可能な地域づくり教育)を実践したり、環境資源や人材を活かした“地域創生”活動を地元の方々と協働しながら企画し実行することで、社会の課題解決に貢献することを目指しています。

芝浦工業大学では SDGs アクターの資格を取得する学生が多く、これまでに資格を取得した生徒は 150 人以上にもなります。

また、私たちは、地元の若い世代の主体的な活動を支援することで、福島県の震災復興に役立ちたいと考えております。特に田村市は、地域活性化に熱心な住民グループなどが多く存在するとともに、地元に対する愛着や誇りを醸成しようという強い意識を持った若い世代がいらっしゃいますので、是非応援したいと考えております。

今回、環境システム学科 2、3 年生の学生が実態調査に参加しました。以下参加者の名簿です。

学年	名前	学年	名前
2年生	佐藤	2年生	林
2年生	大貫	2年生	前田
2年生	小川	2年生	佐々木
2年生	鈴木	2年生	森島
2年生	佐々木	3年生	鈴木
2年生	山本	3年生	畠

↑参加者名簿

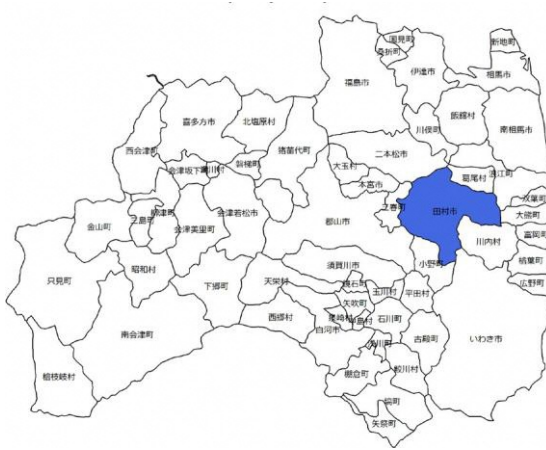
2. 地域のニーズと活動の目的

2.1 集落の状況

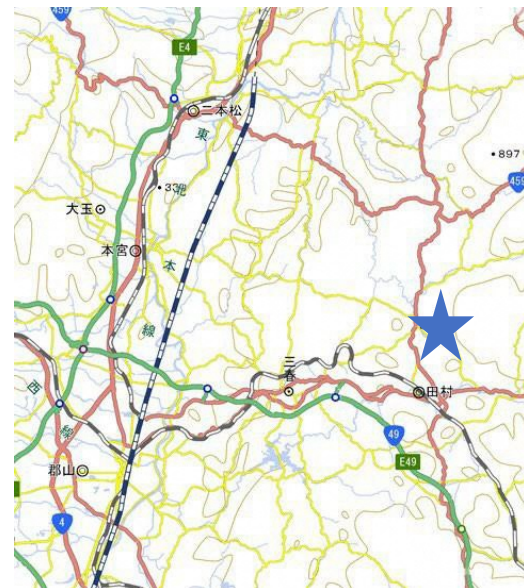
美山地区は、田村市船引町の中心部の北部の山間部にある集落です。

地区の面積は12.53km²で、北部に地区のシンボリック存在である移ヶ岳を有し、中央を横断するように一級河川紫川が流れており、自然豊かな地域であることが伺えます。田村市美山地区はかつて美山村として栄えていましたが、昭和30年に旧船引町、芦沢村、移村、瀬川村、文珠村、七郷村の1町5村と合併し、田村市船引町となりました。

田村市全体の人口は2023年1月現在34,947人であり、年々減少傾向にあります。



参照
<http://popobay.sakura.ne.jp/figures/figures07211.html>

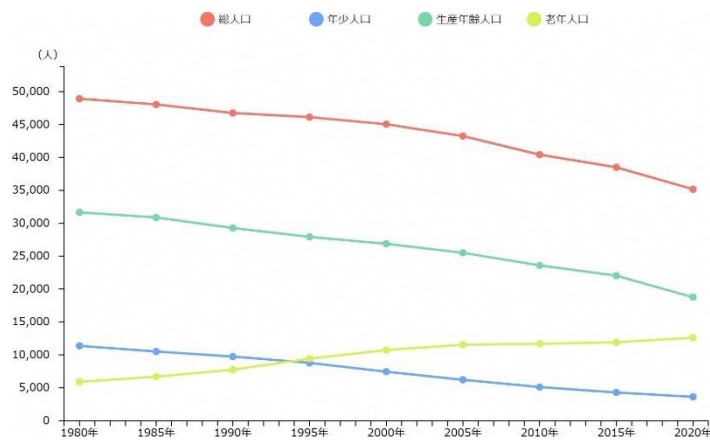


参照 国土地理院

↑ 田村市美山地区の位置



↑ 豊かな自然に囲まれた集落の様子



参照 RESAS

↑田村市の人口推移

2.2 集落のニーズ

かつては農業を中心とした第一次産業で栄えていましたが、近年は高齢化などの理由から農業生産者が減少し耕作放棄地が目立っています。また、市内に教育機関の少ないことから進学を機に若い世代が市外・県外へ流出しており、まちに若者が少ない状況です。

そこで、環境資源や人材を活かした活動を企画することにより、地区の様々な課題解決に繋がるとともに都市の大学生や地区の若年層との交流により、地区に対する愛着や誇りを醸成することに地区の活性化を図ることが期待されています。

2.3 調査の目的

私たちは今回2つの目的をもって活動に取り組みました。1 つ目が田村市の集落景観調査や交流活動を通じて、地域外の私たちから見た美山地区の魅力を地区に住む人々に伝えることで地元の良さを再認識してもらい地元への愛を深めてもらうこと。2 つ目が遊具の作成することで新たな魅力的なスポットをつくりだし、美山で生活する人たちの交流の拠点をつくることです。それによって SDGs の 11 番の目標である、レジリエントなまちづくり・持続可能な地域づくりに貢献したいと考えました。

3. 実施体制と訪問日程

今回、美山小学校の児童および教員の方々、美山地域づくり協議会、田村市役所や議員の方、一般社団法人スイッチの皆さまなどが中心となって受け入れていただきました。

3.1 現地訪問

・日程

令和4年 8月30日(火) 31日(水)

・実習内容

- ① 美山の集落景観調査
- ② テラス石森 見学
- ③ 聖石温泉 村越芽生さんのお話
- ④ 木工体験
- ⑤ 個人の感想

芝浦工業大学 福島スタディーツアー スケジュール

最終更新日 2023/2/28

日	30	31
曜日	火	水
7:00		
8:00	【参考】 8:09 大宮→9:22 郡山 9:30 郡山駅集合	貸切バスで移動(神田の湯→美山小学校)
9:00		美山小 3・4 年生と合同調査 (貸切バス 4 台で移動) 芝浦工大生選定ヶ所:下旦の平、富士の湯付近
10:00	貸切バスで移動(郡山駅→聖石温泉)	
11:00	村越さん倉庫で展望台、ブランコなどのプレカット、仮組み 11:00県庁担当者来訪、11:30 田村市長来訪	
12:00	昼食(聖石温泉)	昼食(聖石温泉)
13:00	聖石温泉第 2 キャンプ場で展望台、ブランコなど 製作 村越さん倉庫でプレカット、仮組み→現地へ運搬	聖石温泉第 2 キャンプ場で 展望台、ブランコなど 製作 現地で組み立て
14:00		
15:00		
16:00		聖石温泉で入浴
17:00	貸切バスで移動 テラス石森の視察	貸切バスで移動(聖石温泉→郡山駅)
18:00	貸切バスで移動 船引市街地で夕食をとる	【参考】18:30 郡山→ 19:23 大宮
19:00	貸切バスで移動(船引市内→神田の湯)	
20:00		
備考	バスの移動の際は、マナーを守りましょう。	
宿泊先	神田の湯 〒963-4603 福島県田村市常葉町西向中 104-1	

行程表

3.2 オンライン交流

・日程

令和4年 11月12日(土)

9:15 オープニングセレモニー

9:25 3・4年生発表

9:45 発表終了

・方法

ZOOM

・内容

美山小学校「みやまっこフェスタ」への参加および3・4年生との交流



参考 国土地理院

4. 現地調査報告

4.1 美山の集落景観調査

・景観調査

昨年とは違い、この日は天候もよく屋外で景観調査を行えました。

学生が独自の目線で景観に対する 10 段階評価を行いました。普段見たことない景観に歓声があがりました。

美山に住む人々にとっては、毎日見慣れた景色であっても、普段都心に住んでいる私たちにとっては、とても美しく特別な光景でした。



景観調査の写真





景観調査の様子

・小学生とのスポット調査

大学生だけで景観調査を行った後、美山小学校の3・4年生と一緒にスポット調査を行いました。景観調査で美山地区の良さを体感するとともに、小学生の元気いっぱいな様子に私たち大学生も楽しむことができました。





小学生とのスポット調査の様子

以下が感想です。

美山小学校が最も印象に残っていたものの1つです。小学生とこのように深く関わるのが初めてで接し方がわからないまま始まり不安でしたが、調査中は小学生の方から話しかけてきてくれたり余った時間で一緒に遊んだりしたことでかなり距離が縮まったと思いました。小学生が思ったよりもしっかりしていて色々学ぶことができました。

私が最も印象に残っていることは小学生との交流であり美山地区の景観調査で行った場所がとても記憶に残っています。普段は同年代の人としか関わることはないのもとても新鮮で楽しい思い出になりました。

印象に残ったのは美山小の子どもたちと行ったねぎ畑や山です。たくさんの自然がありふれたこれらの場所ではトンボやバッタなどたくさんの昆虫が存在し、子どもたちが特に興味を示していました。子どもたちはこれらの場所では何が良いところかを大変理解しており、水が汲める場所を教えたりしました。そこでは水がでている管が二つあり、ひとつはろ過されて綺麗になったものと、山から直接流れてきたものの二つで、山から流れてきたものは時によっては茶色く濁っており飲むには適していないことを教えてくれました。

薪の里ながとろが一番印象に残った場所です。去年の実習でもこの場所に訪れましたが、その時は訪れているのが自分たちだけという事もあり、綺麗な場所だなという印象しかありませんでした。しかし、今回の実習では美山小の生徒たちと一緒にいったため印象がガラッと変わりました。小学生たちが無邪気に走り回り自然と触れ合う姿を見て、こういう場所も必要なんだなと感じました。小学校とも積極的に連携しており、ながとろで出来た食べ物をたべたりやピザ窯でピザづくり体験を行ったりと小学生の思い出に残るような行事を開催していました。

4.2 テラス石森の見学

次に、テラス石森の見学を行いました。ここは、廃校になった旧石森小学校を活用してつくられたテレワークセンターで、地域交流の場として幅広く活用されています。

この見学を踏まえ、地域活性化のシステム作りや廃校を快適な仕事場へとリノベーションしたことは、私たちが大学で学んでいる設計の建築分野や地域活性化の都市環境分野に通ずるものがあり、より共感することができました。



見学の様子

以下が感想です。

テラス石森は廃校を再利用し、町おこしという利用目的に着目し、企業のワーキングスペースや、職業斡旋などの場に利用しているところが非常に有効的に活用できるなと感じた。

廃校を様々な企業などが入れる施設として利用しているのがとても良いと思った。また、地域おこし協力隊についてさらに調べてみようと思った。

薪の里ながとろでは、とても豊かな自然の中に憩いの場やピザ窯などがあり、とても素晴らしい場所だと思った。美しい風景を守るために、管理し続ける重要さが分かった。

4.3 聖石温泉 村越芽生さんのお話

二日間とも聖石温泉で、昼食を頂きました。そこで、若女将の村越芽生さんのお話を聞きました。話は以下の通りです。

SNS で情報配信を行っていた

→有名になってしまい、周囲の人に噂を立てられるのが嫌になり SNS はやめてしまう

何かできることはないか

→調理師免許取得&19歳で実家の温泉の若女将になる

⇒現在、田村市の観光キャンペーンクルーに就任



お話を聞く様子



全体の集合写真

以下が感想です。

<p>今回はこのような機会を与えてくださり、ありがとうございます。大学では都市計画や建築について学んでいますが、実際に残り続けるものを 1 から作り上げるという経験はとても楽しく学んだことが沢山ありました。工具の使い方やお仕事の事などの貴重なお話を聞いたこともとてもいい体験になりました。ほんとにありがとうございました</p>
<p>遊具作りの際に手伝っていただきありがとうございました。貴重な体験ができてとても楽しかったです。</p>
<p>みんなで 1 つのものを 1 から考えて作るという良い機会を作ってくださいありがとうございました。この体験をこれからの人生に活かしていきたいと思います。</p>

<p>あれだけ大きな遊具を作るというのは今までの経験上ないことだったので、とても貴重な経験になりました。この経験は、私の将来たずさわりたい都市計画分野に於いて、大きなものになると感じています。</p>
<p>私は今までこのような大きなものを製作するということが無かったので、とても良い経験になりました。このような貴重な体験をさせていただきありがとうございました。また、村越さんの力がなければ遊具を完成させることは出来ませんでした。本当にありがとうございました。</p>
<p>このような貴重な体験をさせていただいて本当にありがとうございました。特に遊具作りではひとつひとつ丁寧に作業のやり方を教えてくださり素晴らしいものができあがりました。本当に楽しかったです。ありがとうございました。</p>
<p>設計から実際に作る場所までを小規模ではあるものの身近に体験することで、自分が今後設計するときに完成形がどういったものになるかより鮮明に想像することができるようになったと思います。普段の授業では紙面の上やバーチャル上で想像するだけでこういった体験はしてこなかったもので、今回の活動は私にとってとても大きいものとなりました。このような経験をさせていただきありがとうございます。</p>
<p>遊具製作で、私たちが企画したものを形にするために、デザインから材料まで考えていただき、訪れた時にはもう大体の形が完成していて、村越さんが居なければあんなに完成度の高いものが作れなかったと思います。 なかなかできない貴重な体験をさせて頂きありがとうございました。</p>

村越芽生さんのお話の中で、「大学生が活動するからこそ意味がある」という言葉に重みを感じました。地域活性化を継続するということがどれほど重要なのか。それを仕事として活動されている芽生さんに憧れて地域の子供たちがこれからも田村市を盛り上げられたらいいと思いました。ありがとうございました。

お忙しい中、お昼を提供していただいたり、お話を聴かせてくださったりしてありがとうございました。自分とあまり変わらない歳で、地元のために実践してらっしゃる姿はとても刺激になりました。

お父様だけでなく、ご協力いただいた皆様、本当にありがとうございました。無事に形となり、楽しかったと思えたことは間違いなく皆さまのおかげです。最後に「田村市にディズニーランドのようなテーマパークをつくる」とおっしゃっているのを聴いて、現在就職活動中の私はとても感銘を受けました。人を笑顔にするという私の目標は自分次第でどこだって達成できることである、就職活動をしていく中でいつのまにか企業に就職することが目的となってしまったいたことに気付かされました。3年生のこの時期に参加させていただいて本当によかったです。

4.4 木工体験

次に村越さんのお父様の作業場で、木工体験を行いました。

- ・建築廃材を活用した木工産業を行っている
⇒ないものばかりを考えるのではなく、あるもので補う方法を考える
⇒あるものを最大限生かすという精神
- ・チェーンソーを用いた木材の切断体験、木材加工
⇒普段体験することができない貴重な体験をすることができた。



一日目 倉庫での木材切断の様子



二日目 キャンプ場での遊具設置の様子



完成した芝ねこ遊園

以下が感想です。

<p>私が行った作業はそり立つ壁の作成で主に登るための足場や表面を覆う部分を作りました。建設系の道具を使うのは初めてでしたが、毎回丁寧に教えていただいたお陰で多くの経験を積むことができました。現場の雰囲気や実際に道具を使って遊具を建てることは新鮮で楽しかったです。</p>
<p>3班と合同で遊具にブランコを作る計画を立てた。当初は座面を木の板で作る予定だったが余っていたタイヤを使うと良いのではないかと提案した。実際に作業を行なってみてドリルを使い穴を開けるなど今までやったことのない新しい経験ができて楽しかった。</p>
<p>私はブランコを作る作業を行いました。 当初の予定とは変更してタイヤを使ってブランコを作りました。みんなで協力してタイヤに穴を開けたりロープを通したりする作業を行いました。 4人で考えた案で完成品がとてもいい出来で非常に嬉しかったです。</p>
<p>自動車のタイヤでブランコ造りを行った。 子供が乗っても大丈夫なような作りをするために、針金等で補強しなければならなかった。 構造計算で大体の負荷はわかっている、その対策もしていたつもりだったので、実際にやってみることが大変だった。</p>
<p>遊具にネットをつけて、上に登れるようにした。ネットに人が乗っても大丈夫なように強度を上げたり、ネットのサイズを遊具に合わせるのが大変だったが完成させることが出来て良かった。</p>
<p>自分が担当した作業は反りたつ壁の作成でした。木の板を45度の角度で張り付けていく設計にのっとり作成しました。まず木を大きさに合う形に電動ノコギリで24枚切り取り、その後カンナがけを行い、最終的にはそれぞれをビス打ちをして組み立てることで完成させました。ビス打ちやカンナがけははじめての体験で、最初はまったくといっていいほどできなかったのですが、回数を重ねるごとにできるようになり成長を感じることができてとても楽しかったです。普段ではできない貴重な体験ができて、大変感謝しています。</p>
<p>私の班が行った作業はブランコを作る作業が主で、その他にも他の班の手伝いをしていました。その中でも特に印象に残った作業はドリルでタイヤに穴をあける作業です。初めて見る道具で普段体験できないことができたのでとても新鮮な気持ちで作業できました。とても便利な道具である反面、危険やどうにもならないことがあり、解決のために試行錯誤する過程がとても楽しかったです。</p>

ネットで登るところを制作した。

最初はネットが砂だらけで、とても絡まっていて遊具に使えるのかすら心配だったが、ハサミで切ったりトンカチでたたいたりして、自分たちが乗っても大丈夫なぐらい安全性の高いものが作れてよかった。

パソコン上では、簡単に壁や柱の長さを変えることができるのに対し、その大きさに切ったり加工したりすることで「作る」ということの難しさを体感しました。だからこそ、作り上げたときの達成感を身をもって得られました。

自分自身建築を学んでいながらも、自分の手で実際につくるという経験がなく今後の自分にとって今回の体験は非常に貴重であった。また、間近で職人の技をみることができ感動した。

5. 美山小学校とのオンライン交流報告

令和4年11月12日(土) 9:00～9:45、美山小学校の「みやまっこフェスタ」に参加しました。子ども達の学習活動の発表を聞くとともに私たちも発表をし、その後3～4年生と交流をしました。

5.1 美山小学校の発表の様子

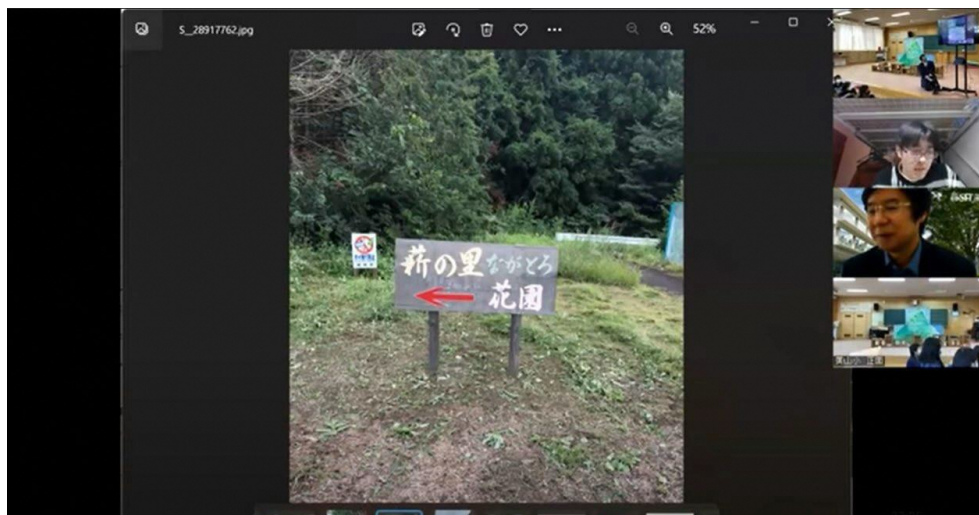
まず、田村市美山小学校3・4年生の発表を聞きました。移ヶ岳の湧き水や紫川の水の稲作利用といった田村市の魅力について話してくれました。また、田村市の魅力を伝えるために、グリーンパーク都路やタクシーの後部座席などを活用してパンフレットを配布する具体的なアイデアを提案してくれました。



美山小学校の発表の様子



代表の生徒が話している様子



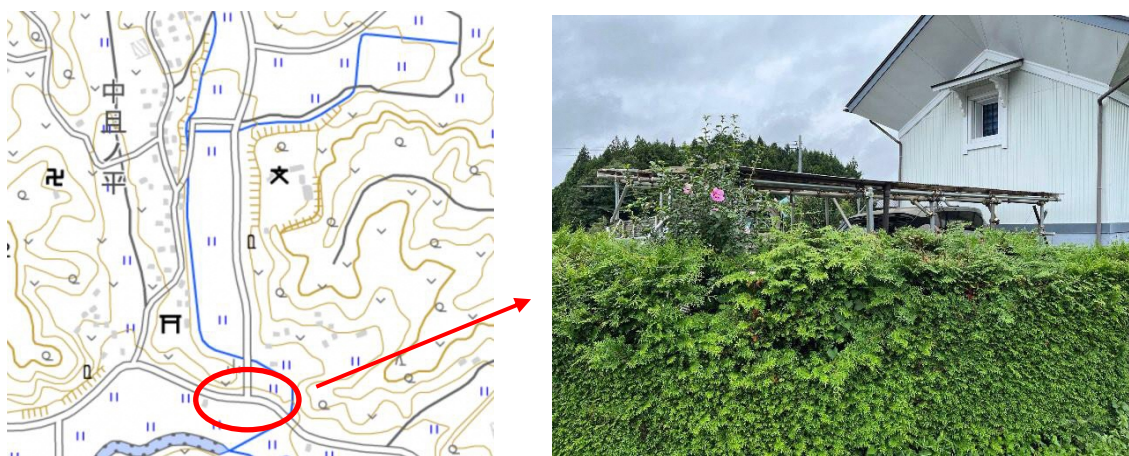
私たちの発表の様子



発表終了後

5.2 未来に残したい美山の風景の発表

5.3



景観調査を終え、最も評価がされた景観スポットは、上の写真の土蔵になりました。これは、都心ではあまり見ることができない日本の伝統的なつくりの建物が民家に備わっていたからです。ほかにも、評価が高かった景観スポットは、大きな木や山が見られるスポットで、これらは都心部では見ることができない豊かな自然の象徴になっているからだとと言えます。

5.4 考察と感想

今回の交流により、小学生目線のその地域の魅力や特徴を知ることができ、今後の活動に生かせるものを見つけることができました。

以下が小学生に向けたメッセージと感想です。

<p>この度は美山小学校周辺の調査を一緒にしてくれてありがとうございます。美山の良いところをたくさん紹介してもらったり美山でしか体験できないことがたくさんあってとても良い経験になりました。余った時間で一緒に遊ぶこともできてとても楽しかったです。また会う機会を楽しみにしています。</p>
<p>一緒に遊んでくれてありがとうございました。歳の離れた人と久しぶりに話せて楽しかったです。</p>
<p>美山地区の素敵な場所をたくさん案内してくれてありがとうございました。また一緒に色んなところをまわれば嬉しいです。</p>
<p>東京で暮らしているうちは絶対に見られない絶景を見せていただいたことは貴重な経験になりました。自分の故郷に人の心を動かすような景色があることは、田村市の誇りだと思います。</p>
<p>皆さんと一緒に美山地区の美しい風景を見ることが出来て良かったし、とても楽しかったです。美山地区は自然豊かでとても素晴らしい魅力的な地区だと思いました。また、皆さんの活発な姿を見てとても元気をもらえました。ありがとうございました。</p>
<p>今回は貴重な体験をさせてくださり、本当にありがとうございました。子供たちの純粋で素直な意見や価値観にハッとさせられたり、考えさせられたりすることもあり、これからの自分の物事の捉え方を新しくする良い機会となりました。自分が驚いたこととしては、彼らがこの地域について大変よく理解をしているということです。</p>
<p>「ここで水が汲めるんだよ」と水が汲める場所を教えてくれたのですが、そこでは水がでている管が二つあり、ひとつはろ過されて綺麗になったものと、山から流れてきたものの二つがあり、雨や嵐が来た後などは色が茶色く濁っており飲むのには適していないということを教えてくれました。彼らが自分の目で見て経験して培った知識は大変尊いなと感じました。一日だけでしたが本当に楽しい時間でした。</p>
<p>一緒にまわってくれた、ゆいちゃん、そらちゃん、いつきくん、最後余った時間に一緒に遊べてめちゃくちゃ楽しかったよ！！！！</p> <p>ようくんより</p>

とても楽しい時間を過ごすことができました。皆さんが楽しそうに自然と触れ合う姿をみて、地域の活性化にはどういったものが必要なのか新しい視点から考えるきっかけになりました。また、美山小学校の付近の景色は地域の人たちの手入れが行き届いており、とてもきれいな景色でとても感動しました。

小学生と関われる機会は実生活の中ではなかなか無くて、一緒に歩いて町の良さを見つけたり、自然に触れたり本当に楽しかったです。小学生のみんなにとっても元気や癒しを貰いました。ありがとうございました！

とても元気で昆虫に物怖じしない純粋な気持ちを持っている子どもたちだと感じました。また、一度都会に出てみて改めて自分たちが住んでいる地域の良さに気づいてもらいたいです。

美山の素敵な部分を元気いっぱいに教えてくださいありがとうございました。

6.まとめ・今後の展開

今回行った活動を発表し、多くの方に知ってもらうことで、さらに地元を好きになってもらうきっかけになればと思います。また、今回の活動を通し、学生にも大きな成長が見られました。地元のみなさんとの関わっていく中でコミュニケーション能力が上がったと答えた生徒が多く見られました。加えて学生個人が社会貢献活動へ興味をもつきっかけにもなったと考えています。

来年度の活動に関しては以下のことができればと考えております。

- ・美山小学校との連携の継続
- ・芝ねこ遊園の維持、活用方法の検討
- ・高校生や 20 代前半の方と何か企画し実践する

謝辞

田村市の皆様、美山小の皆様、中口先生

今回はこのような機会を設けてくださりありがとうございました。美山小との交流を通して生徒たちの積極的な姿勢や強い地元愛を感じ、初心に戻って自分を見つめ直すきっかけになりました。美山小の生徒たちの前のめりな姿勢を見習いこれからの活動に取り組んでいきたいと思ひます。

執筆

芝浦工業大学 システム理工学部 環境システム学科 3 年

鈴木・ 畠